

人文学部及び農学部改組予定、理学部の定員減の予定について

高知大学は、「地域活性化の中核的拠点」となることを目指し、平成27年度に引き続き、平成28年度は下記のとおり全学的な改組を行う予定です。

**本計画については、設置申請中であり、変更する場合があります。**

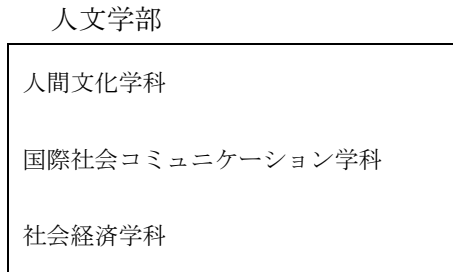
記

改組前（平成27年度）			改組後（平成28年度 予定）			
学部名	学科・課程名	入学定員	学部名	学科・課程名	入学定員	事項
人文学部		275	人文社会		275	改組
	人間文化学科	94	科学部	人文社会科学科	275	
	国際社会コミュニケーション学科	83				
	社会経済学科	98				
教育学部		130	教育学部		130	
	学校教育教員養成課程	130		学校教育教員養成課程	130	
理学部		270	理学部		240	定員変更
	理学科・応用理学科	270		理学科・応用理学科	240	
医学部		170	医学部		170	
	医学科	110		医学科	110	
	看護学科	60		看護学科	60	
農学部		170	農学海洋		200	改組
	農学科	170	科学部	農林資源環境科学科	90	
				農芸化学科	45	
				海洋資源科学科	65	
地域協働学部	地域協働学科	60	地域協働学部	地域協働学科	60	
合計		1,075	合計		1,075	

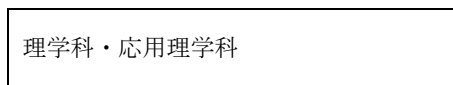
※組織名称は全て仮称です。

## 再編イメージ図

改組前（平成 27 年度）



理学部

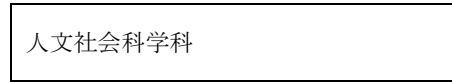


農学部

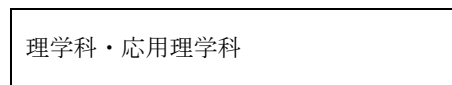


改組後（平成 28 年度 予定）

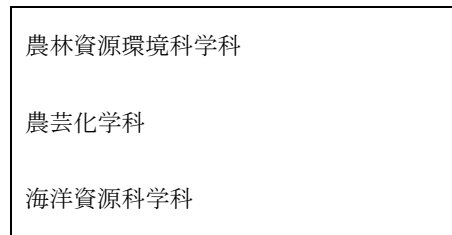
人文社会科学部



理学部



農学海洋科学部



## 人文学部改組の目的と概要

グローバル化の進展をはじめとする社会の変化により、近年の社会は、総合的、専門的知識を持った人材だけでなく従来の分野の枠組みを越えた柔軟な発想力を兼ね備えた人材を強く求めています。

そのため人文学部は、学科の“垣根”を取り払い、新たな理念「人文社会科学（領域）の涵養」を基軸に教育課程を一体化する組織改編を行い、1学科体制の下、「人文社会科学（領域）」の教養を軸としてグローバルかつローカルな課題に取り組み、社会の変化に柔軟に対応できる新たな人材の養成を行います。

具体的には、新たな学部共通科目群（「人文社会科学プラットフォーム科目」）による幅広い知識の窓口を設けるとともに、学生の学びのコアとして専門性を深めるための「コース・プログラム」によって豊富な知識を習得し、少人数教育「ゼミナール」によって習得した知識と知識を確実なものとして繋いでいきます。

人文科学コースでは、人文科学の各専門分野における深い問題意識や探究心を持ち、それによって地域社会の文化（思想、歴史、地理、文学等）の保持・保存・発展に貢献できる人材を養成します。

国際社会コースでは、多角的な社会・文化のあり方に対して複数の価値があることを理解し、それに基づく主体的で複眼的な思考力・判断力によって、グローバル社会で国境を越えて連携できる人材を養成します。

社会科学コースでは、金融システム、組織のガバナンス、市場・政府の管理・規制等のしくみなど現行の社会制度及び在るべき社会制度設計の考え方を理解し、問題解決のための制度の改善、新たな制度の設計を自律的に考える人材を養成します。

## 農学部改組の目的と概要

国の施策、高知県の産業振興計画として生産現場の強化、農畜産物の高付加価値化、中山間地対策の強化等が挙げられています。また、国の「海洋基本計画」等では、地域間あるいは国際間で天然資源の維持管理に必要な基礎的知識を有する海洋人材の育成が強く求められています。

このような課題に対応するため、農学海洋科学部では、国際協働特別プログラム及び農山漁村地域連携プログラムによる分野横断的教育が実施できる体制の再構築と農林資源環境科学科、農芸化学科、海洋資源科学科の3学科体制により、農学・海洋科学分野のバックグラウンドとなる専門的知識をもって、人と環境が調和のとれた共生関係を保ちながら持続可能な社会の構築を志向する人材を育成します。

農林資源環境科学科では、分野横断的な「農業、林業とそれをとりまく生産環境」や「人と自然環境との共生」に興味を持つ学生を広く受け入れ、主専攻1分野、副専攻1分野を必修化し、「農学、森林科学、自然環境学、生産環境管理学等に関する専門的知識と実践的技術」に関わる幅広い知識を深め、農学関連分野にかかわる諸課題を自律的に解決できる人材を育成します。

農芸化学科では、化学的な視点から「生命」、「食料」、「環境」に関連することがらを探究することに興味のある学生を幅広く受け入れ、幅広い教養と動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、安全な食料生産と健康増進、環境保全と修復、生物生態系等を多面的に理解するために必要となる知識と技術を修得させます。そして、それらを活か

した社会貢献の新たな道筋を創造する力，構想力を育み，化学的視点から生物生産を幅広く探究でき，その成果を地域社会への貢献に結びつけられる技術者・研究者を育成します。

海洋資源科学科では，「“海”を知る」，「“海”を使う」，「“海”を護る」ことに興味のある学生を広く受け入れ，「海洋生物生産学」，「海底資源環境学」，「海洋生命科学」の3コースを設置し，海洋生物生産，海底資源環境，海洋生命科学に関する専門的知識・技術に加え，海洋資源管理に不可欠な社会科学的知識をも教授し，俯瞰力と実践力のある海洋専門人材を育成します。

### **理学部の定員減**

農学海洋科学部の海洋資源科学科に海底資源環境学コース，海洋生命科学コースを設置して，学士課程教育を機能強化することに伴い，理学部の入学定員を270名から240名に変更します。